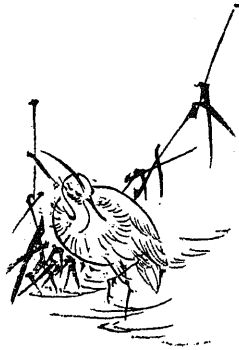


の都合とやらで、本號に載せる事が出来ぬわい。
 たいし、御褒美の品だけは確に當人たちへ遣はし
 ましたぞ。
 (やまとの翁)

次のを當てる人だーれ(これには御褒美なし)
 ●六を二分して(我國の名)



家庭



幼児の友達

ふみ子

今こゝに友達と申しますのは、普通にいふ遊び
 友達ばかりの意味ではありませんが、大人でも、
 老人でも、多くの時間、幼児に接する人のことで
 ございます。

友達、これは幼児でも、大人でも、男でも、女
 でも、極々大切なもので良いことも、わるいこと
 も、其友達から受ける影響は非常なものでござ

ます。中には、よい感化をうけて、ますます、其の品性を高めつゝある人もあり、また、いつの間にか、ふそろしい悪い方に入つて居る様な人もあります、其實例は世の中には、まことに、澤山ありまして、誰しも、よく、承知して居ることでありませぬ。そこで、私も今、こゝに、其わるい方の影響に付て記して見ようとおもひます。

一体、幼児が家庭に於て友達といたします人は其家庭の種類により、また、境遇により色々ありますが、中等以上の家庭では、召使を、幼児の相手として置くのが澤山あります。其召使の中にも色々ございまして、十六七才から、二十才位の人が、只、ふもりとして、また、かつきとして相手をして居るのもあります。また、三十前後から五十位の人が、乳母として、すべて、世話して居

るのもあります。これ等は、重に、其幼児につききりにして居るのでありますが、其他下女や、小間使の様なものも世話して居るものもあります、そこで、これ等の境遇の子供が、普通、陥り易い弊害は、どうであるかと申しますと、非常に、我儘で、すべて、何事も我意の如くにあるものであると考へて居ることでありませぬ。これは、召使の人達が、主人に心服せず、従て、幼児に對して、愛情を持つて居ないで、意地悪いあたり方をいたします場合には、また、ほかの悪影響があります。これは、とりのけといたしまして、普通の召使は幼児のいふがまゝに事へませぬ、一も二もなく、幼児の慾望をみたしてやりませぬ、尙進んでは、幼児は、また、一言もいはぬ先に、已に、其意を迎へて、事をいたします。そして、これは、幼児に

つかへて、忠なる道といたして居ります。獨り、召使が、思ふばかりではありません、主人の方でも、左様、考へて居らるゝのが多いかも知れません。勿論、主人に事へるのには、さう ありたいものでございますが、幼児其物には、快して、召使をつかふ方のあるものではありませんから、幼児を世話して居る召使も、矢張 兩親の召使であります、幼児其ものに、召使をつかふ方のないことは、貴賤貧富をとはず同一であります。成人して後こそ、使ふ方のある人もない人もありますが、幼児の時は、即ち、いづれも、幼児で、家が富んで居るから、召使をつかふ方があるとか、貧しいから、ないとかいふわけのものではないと思ひます、而して、取扱方によつて、かはり易い、頑固でない幼児は、わか意ふまゝになるにまかせて、

だん／＼不當な要求をしはじめます、また、無理な注文もいたしてまゐります、そこで、幼児を世話して居る人達が 適當に、禁止し、訓誡することが出来れば、幼児のためには、大へん、仕合でございますが、斯様な召使は、甚だ、稀に、見ることが出来るので、幼児の生れた初から、責任を持つて、世話して居る乳母さへも、其幼児をしつけることは六ヶ敷いことでございます。まして、普通の召使には、到底 其方に及びません。ために、幼児が、色々のよくない影響を受けることは申すまでもありません。しかし、よく／＼考へて見ますれば、召使などには、無教育の人が多いでございますから、これ等は、自然の結果でございます。いませう。

また、今申しましたのは、少し ちがひます

が年とつた祖父さんや、祖母さんを友達にして居る幼児だちもありません。老人と申すものは、とにかく愛に弱れ易いもので、其上身心共に衰へて居りますから、老人に世話された幼児は所謂としより兒とか申しまして我儘で柔弱で、不活潑で何となく、幼児らしくない思想を持つて居るものが多いといふことは、誰も、よく承知して居ります。

一体、下等社會では、特別に、幼児のために、相手になつて居る人はありませんで、多く、放任して置きますから、まへに申した二つの場合で前者は、上流社會の家庭に、後者は、中流社會の家庭にありがちなこととごさいます。そこで、斯様な場合に、十分、父母のよい感化が及ぶことが出来れば、さほど悪影響を受けませんが、上流

社會では 幼児は朝夕、辛うして、其父の顔を拜するのみ、ことによれば 幼児と兩親とは 起臥の時間が異り、また、部屋が異て居るために、數日相見ざることすらあり、母の方は紡間、應接なとに忙かしいのもあり、さなくて、終日、家にゐる人も、一切、幼児の教育にたづさはらぬ人もあります。又中流社會では 父は業務に忙はしく、母は家事の整理に多忙で、意ならずも、老人に幼児を托するのがありますから、斯様の境遇に居る幼児は、父母の直接の感化は、大に減して居るのが、澤山あります。

そこで、私は、これ等を救ふのに、同じ様な權力を持つて居る友達を持たせることがよいと思ひます。しかし、友達にも色々ありますから、無暗に、作つてはなりません、よく注意して撰み

ませんと、かへつてない方が、遙に、まさつて居る様になりますから、とくに、友を作らぬ様にして居る方のあるのは、これも、一の主義でありませす。けれども、普通以上の友達を得ることが出来るといたしますれば、相互に遊嬉して居ります間に幼児は、自然の制裁を受けます。同じ様な権力の幼児同志が遊んで居りますと、快して我が意を通りばかりも振舞ふことは出来ません。例へば、ここに、一の玩具があるといたします。自分獨りなれば、いつも、獨りで 占領して居ることが出来ます。けれども、他に友達があれば、そう、獨りで占領して居ることは出来ません。斯様な處からだん／＼我意を抑へるべき場合のあることを知りてまゐりまして、我儘が小くなります。若し、これが、めしたの者の幼児で、何事も、我意に従て

居る様な友達では、何の効もありませんで、害になります。斯様な點から、兄弟と共に遊ぶことの出来る幼児は仕合でこさいです。其他同年齡の幼児と遊ぶことは、幼児自然の状態をあらはして、活動することが出来ますから、老人ぢみる患はありませぬ。従て老人ばかりを友達として居る時は、柔弱に陥ることもありません。前に申した召使や、老人に對しては、外に、色々のしかたもありませうが、いま、申した友達を作るといふことは、與へて良い自然の良境遇であるとおもひます。しかしよく／＼注意に注意を加ふべきことは、よい友達を撰むこととこざいます

救急處置

醫學士 長瀬復三郎